

新しい年が始まり、早くも1か月が過ぎました。新しい春に向けて、今のうちから準備をしていきたいものですね。

今月は、支援員の二宮妙子先生からメッセージをいただきました。

「聞く耳を持っていますか？」

「はだかの王様」という童話を知っていますか。私はこのお話が大好きです。1人の子どもがパレード中の王様に向かって「はだかの王様だ」と言い放ったその瞬間、その場の空気が一転します。ほどなく、水紋が広がっていくように、王様や家来や町の人たちが次々と我に返っていきます。物語のラストは、実に爽快です。

日常の会話の中で、「はだかの王様」という言葉が使われることがあります。例えば、「そんな風に人の意見に耳を貸さなかったら、はだかの王様になってしまうよ。」という感じです。

ところで皆さんは、どのような耳を持っていますか？

- 好きな人の意見なら素直に聞くけれども、嫌いな人の意見には耳を貸さない耳ではありませんか？
- 相手が嫌いというだけで、塞いでしまう耳ではありませんか？
- 都合のよいことだけを聞く耳ではありませんか？

自分が「聞きたくない意見」にこそ、大切な内容が含まれていることがあります。聞く耳を持つことは大切なことです。あるスポーツで全国制覇を成し遂げた優勝監督が、インタビューの中で、「伸びる選手」のポイントについて聞かれていました。その時の監督の答えが「人の話を素直に聞くことができる生徒」でした。

「はだかの王様」にはもう一つの側面があります。保身のために、あるいは多数派に同調して声を上げない大人に対して、何も知らない一人の子どもを登場させることで、アンデルセンが皮肉を込めて叱咤激励をしているような気がします。このお話は、自分の問題でもあります。



《片桐弥生先生 来校予定日》 2/5 (月)・13 (火)・19 (月)・26 (月)

※保護者の方もご相談いただけます。

* ご相談は下記でも受け付けております。

電話番号：(0894) 72-0102 メール：nomh-soudan@school.esnet.ed.jp